

はじめに

地球規模での温暖化や天然資源の枯渇への懸念など環境問題が深刻化する中で、その一因である大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムを見直し、環境への負荷の少ない循環型社会への構造転換を図ることが求められています。

令和4年度の防府市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量は567gとなっており減少傾向にありますが、全国平均や山口県平均を上回っており、さらなる取り組みが必要です。

本市では、「**3Rの実践による未来につなぐ循環型社会の構築**」をごみ処理の基本目標に掲げ、現状よりも一歩も二歩も進んだ3Rの実践活動を推進していくこととしています。

この一環として、新ごみ処理施設の稼働にあわせ、「資源ごみ」への3品目（プラスチック製容器包装、紙製容器包装、紙パック）の追加や新たに「危険ごみ」として6品目（スプレー缶類、乾電池類、水銀体温計、蛍光管、ライター類、陶磁器・ガラス類）を分別品目とすることなど、ごみ全体の分別区分や分別内容の見直しを行いました。

本書は、平成26年4月から市内一斉に開始した新しい分別について、ごみの分け方や出し方を分別区分ごとに解説したもので、具体的品目を五十音順で示したごみ分別早見表も掲載しています。

できるだけごみを減らし、ごみとなったものも資源として循環利用していく取り組みに、ご理解とご協力をお願いします。

3つの数値目標

目標
1

1人1日当たり家庭系ごみ排出量（資源回収量を除く）

資源ごみとして分別回収されるものを除き、令和2年度実績に比較して約200gの削減を目指します。

※1人1日当たり200g（りんご1個分くらいの重さ）のごみの減量化をすると…

防府市全体で1日約22トン、年間約8,000トン
（ごみ収集車で4千台分）のごみ減量につながります。

約200グラム削減

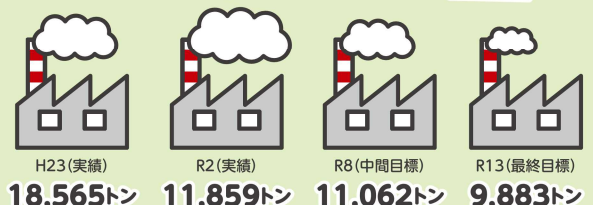


目標
2

事業系ごみ排出量

搬入基準の明確化や適正処理に関する周知活動を積極的に展開したことで、事業系ごみ排出量は大幅に減少しています。今後も事業者と協力し令和2年度実績と比較して、約17%以上となる約2,000トンの削減を目指します。

約2,000トン削減

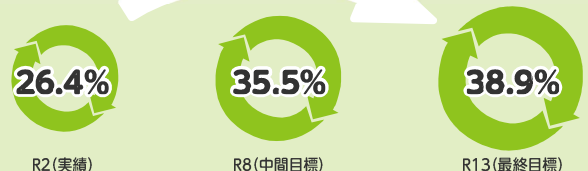


目標
3

リサイクル率

市民や事業者の適正分別によるリサイクルと中間処理施設の適正管理による施設におけるリサイクルの両立を図ることにより資源回収の拡大を進め、リサイクル率を38%以上に上げることが目指します。

12.5%増



「3つのR」をご存知ですか？

3Rとは、Reduce, Reuse, Recycleの頭文字を取ったもので、
ごみを減らすための環境行動を表すキーワードです。

Reduce

リデュース

ごみそのものを減らしましょう。

無駄なものは買わない、もらわない。



食べきれるぶんだけ買う。



過剰な包装は断る。



詰め替え商品を買う。

Reuse

リユース

くり返し使いましょう。

まだ使えるものはごみにしないで、別の使い方を考える。



リターナブルびんを利用する。



フリーマーケットやリサイクルショップを利用する。

Recycle

リサイクル

再び資源として
利用しましょう。

ごみとして捨てるときは、
大切な資源として
活かせるよう
正しく分けて捨てる。



市が実施している分別収集に協力する。